サボア・モンブラン大学
Université Savoie Mont Blanc

●学部・大学院生 13,000人　●教職員 1,260人　●留学生 1,200人
ホームページ　https://www.univ-smb.fr/en/
交流協定締結年月日：2000年3月24日　　主管学部：工学部

ブルジェキャンパス

ブルジェ湖

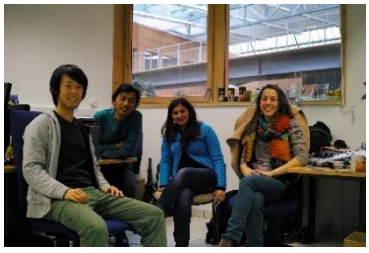
シャンベリーの街並み

国際交流の特色

サボア・モンブラン大学は、1979年近隣の各種学校を統合創設された、学生数13,000人の中規模の国立大学である。8学部と19の研究所からなる総合大学で、法学、経済学、文学、社会学から、工学・科学までの幅広い領域をカバーしている。　所在地は、フランスのローヌアルプ地方、隣接するシャンベリー市とアヌシー市に3つのキャンパスがあり、本部はシャンベリーキャンパスにある。2006年にサボア・モンブラン大学の2つの理工科学院が統合し、ポリテク・アヌシー・シャンベリーとなった。2000年4月に学術交流協定を締結以降、国際インターンシッププログラムによって継続的に学生の受入・派遣を行っており、共同研究と併せて相互に活発な交流が続いている。2008年には、工学部の第1回協定校訪問により、学生17名・教職員5名を派遣して交流を行った。また、2009年に日仏6大学により設置され、現在は12大学に拡大している国際メカトロニクス研究教育機構（IOREM）において、本学と共に両国側の幹事大学として、コンソーシアムの運営をはじめ、国際間の共同研究や共通教育を主導している。

交流実績（平成２６年度～２８年度）

受入・派遣＼年度	H26	H27	H28
学生の受入	3	3	3
学生の派遣	2	1	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0


国際インターンシップの様子

教員からの声

サボア・モンブラン大学ポリテク・アヌシー・シャンベリーとの研究交流は工学部の発足時より続いており、毎年数名の学生の受入と派遣が行われています。当大学の国際交流窓口のPhilippe Bolon教授とは20年以上の親交があり、毎年のように本学を訪れています。私自身は当大学を訪れたことはありませんが、同僚の教授は2001年以来、共同研究で毎年、訪問していました。そして、戻ってくるたびに、当大学のロケーションの素晴らしさを、「ヨーロッパ随一の透明度を持つアヌシー湖を見下ろす高台のキャンパス。真っ青な空と雄大なアルプスが眼前に広がっている」と表現し、最高の環境で研究できる喜びを伝えてくれていました。私の研究室では2014年と2016年に各１名の学生を受入れましたが、登山、ロッククライミング、トレラン、マウンテンバイク、スキーを楽しむ学生でした。
Let's enjoy sports！

工学部教授　石井　明

学生からの声

私は2014年9月から5ヶ月間、国際インターンシップとしてサボア・モンブラン大学ポリテク・アヌシー・シャンベリーのLOCIE LaboratoryのSimon Rouchier先生の元で、建築用材料内における熱および湿度の移動と塩風化による材料のリスクのシュミレーションについての研究を行いました。日本での研究と全く異なるテーマであり最初はとても苦労しましたが、Simon先生から多くのアドバイスをいただき帰国までになんとか結果を残す事が出来ました。雄大なアルプスの山々と湖に囲まれたシャンベリーはフランスの中でも特に治安がよく、慣れない海外での生活を安心して過ごすことができます。またサボア大学側からの補助によりフランス語学校にも通うことができ、研究だけでなくフランス語も学んでみたいという人にもおすすめです。

工学研究科　柿本　将